



&gt;&gt; コロナの前と後

No. 306

JUL  
2020

現代の人類が初めて直面したコロナ禍  
 コロナの前と後ではどのような変化が生まれたのでしょうか？

世間ではテレワークがすごい勢いで普及し、  
 通勤の観念も変わってしまうかも？等々  
 益々、人との接触を避ける？世の中になりそうで、少し寂しいような・・・  
 が、しかし、私たち美容師の仕事は・・・

お客様に触れない限りできない仕事です。  
 世間とは逆行しているかもしれませんが・・・

私達美容師は元来、環境衛生に属した仕事なんです。  
 実は私たち理・美容師国家試験では伝染病学や各種の消毒法が必須なんです。  
 コロナ前まではこの消毒等々が少し緩んでいた事は否めませんが・・・



コロナ後は全てあるべき姿に戻り、より消毒・感染予防等々を強化しています。  
 これで十分と言う事はないのかもしれませんが・・・

各店、高性能空気清浄器を3箇所に設置。  
 そして店内で一番空気循環の悪い箇所には二酸化炭素濃度計を設置し、空気の循環を  
 監視しています。

もちろん、コーム（くし）、タオル、クロス、等々の消毒。  
 使用したドレッサーの消毒等々も行っております。

6月現在、消毒液、マスク等々の備蓄も十分になり、一安心しております。

今後も、皆様に安心してご利用いただけるよう最善の努力をして参ります。  
 暑い時期ですが、緩みすぎないよう、恐れすぎないよう、乗り切りましょう。

## 『蚊取り線香』

暑くなってくると、蚊が増えてイヤな気持ちになりますよね。  
最近は蚊取り線香にもいろんな香りがあるので、そちらを使う方も多いかと思います。  
そこで、気になるのが蚊を攻撃するための煙。  
人体に害は無いのでしょうか？  
そこで、今回は蚊取り線香についてです。

蚊取り線香の煙には、除虫菊から出されるピエストロイドという殺虫成分が含まれているのですが、これは人体にほとんど害はないとされている様です。蓄積されることも無く大丈夫みたいですよ。

ただ、気密性の高い建物では、煙で息苦しくなるので、換気をするのが良さそうですね。

〈 八戸ノ里店 田中 〉



西井の  
Beauty column  
「マスク焼けに注意！」



マスクをしていても、隙間があったり紫外線を防げない可能性もあるので、マスクで隠れる部分も忘れず紫外線ケアが必要です。

日焼け止めの量が不十分。  
まんべんなく塗れていない。  
汗、水蒸れや擦れにより日焼け止めが落ちてしまう

...等の理由でマスク焼けになってしまう事があります。

### ● 塗る時のポイント ●

充分な量の日焼け止めを、まんべんなく塗る。  
マスク周辺は特に念入りに重ね塗りする。  
塗った後は、肌にしっかり馴染み乾くのを待ってからマスクを着ける事です。

マスクをしているからと安心せず、日焼け止めはしっかり塗りましょう。